

【かかりつけ医を持つ若い人を増やそう！】【医療福祉 6 班】



岡山県立高梁高等学校

2年次 藤川依織 戸田ゆず優 乗越萌子 阿部彩花

1. 背景・目的

高梁市の医療課題に逼っていく中で、国はかかりつけ医を持つことを推奨しているが、高梁市民のかかりつけ医を持っている方の割合(特に若い世代)が少ないことが気になった。

→かかりつけ医を持つことの大切さや高梁市内の病院の情報をまとめることでかかりつけ医を持つ際の手助けをすることに！

2. 実験・調査

①インターネットでの情報収集

インターネットで国が思うかかりつけ医の定義や日本全体と高梁市内でのかかりつけ医を持つ割合などの情報入手

③高梁中央保育園の保護者の方へのアンケート

高梁高校でのアンケートと同様、かかりつけ医を知っているかや持っているかなどを質問

②高梁高校2年生へのアンケート

高梁高校の2年生を対象にかかりつけ医を知っているかや持っているかなどを質問

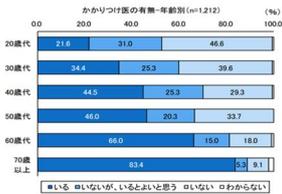
④高梁中央病院へのインタビュー

- ・高梁中央病院をかかりつけ医としていない患者さんが来たとき困ったこと
- ・かかりつけ医をもつことのメリット
- ・かかりつけ医を選ぶ際のアドバイス
- ・若い人に対してかかりつけ医を推奨することは大切なこと

3. 結果

①インターネットでの情報収集

日本全体でかかりつけ医を持っている割合

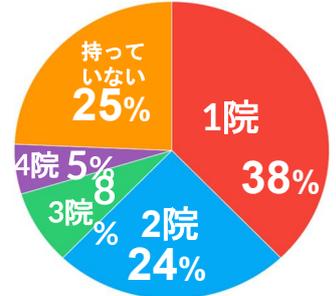


年齢が若くなるにつれてかかりつけ医を持つ割合が低くなっている

②高梁高校2年生へのアンケート

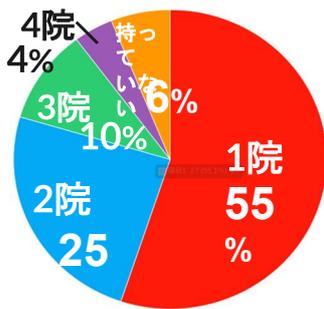
約4人に1人がかかりつけ医を持っていないことがわかる。またかかりつけ医という言葉聞いたことがないという人が約12%もいてびっくりした。

かかりつけ医を何院持っているか



③高梁中央保育園の保護者の方へのアンケート

かかりつけ医を何院もっているか



約17人に1人がかかりつけ医を持っていないことがわかる。また、生徒の結果と比べてかかりつけ医という言葉聞いたことがある人の割合が多かった。

④高梁中央病院へのインタビュー

- ・かかりつけ医としていない人が来て困ったことはない
- ・かかりつけ医の場合病気やアレルギーを把握済みなので迅速に対応できる
- ・選ぶなら自分が話しやすい先生が結局1番！
- ・若い人は病院にあまり頻繁に行かないから実はかかりつけ医がなくても大丈夫な人が多い



高梁中央病院 院長 戸田桂介先生

4. 考察と結論

①私たちが思っているほど若い人へのかかりつけ医の推奨は重要視されていないとわかったが、かかりつけ医を持たなくても良いではなく、もし何かあったときに迅速で適切な治療が受けられるように自分が信用できて何でも相談できる医師を決めておくことが必要であることがわかった。

②かかりつけ医というものの概念が医療従事者、政府、一般市民では違うのではと思った。詳しく調べてみたい。

一概にかかりつけ医は必要ではないと言い切れないが、日頃から病院に関する情報を入手することが必要である。

5. 展望



市内の救急病院と小児科のある診療所をピックアップして、住所や電話番号、休診日などの情報を掲載した。

【左図】パンフレットの案

6. 参考文献

公益社団法人 日本医師会「第7回日本の医療に関する意識調査」について https://www.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20201007_4.pdf